

話そう!

手のことば



おもてなしの手話BOOK

しゅわ



東京都

## はじめに

# 手話は、「**手のことば**」です

「手話」とは、文字どおり、手を使って話す「手のことば」です。聴覚障害者は耳が聞こえなかったり、声を出して話すことが難しかったりするので、何かを伝えるときは目で見てわかる方法を使う必要があります。手話は、手の形や動きによってさまざまな意味を表すことができる、聴覚障害者にとって大切なコミュニケーション方法の一つであり、日本語と同じ「言語」なのです。

でも、ただ手を動かして、意味だけを伝えているわけではありません。みなさんが会話をするとき、声の調子を変えるのと同じように、手話も、手だけでなく顔の表情やしぐさなどをしょうずに使って、気持ちを豊かに表現することができます。これは、声によることばとは違う、手話のすてきな特徴です。

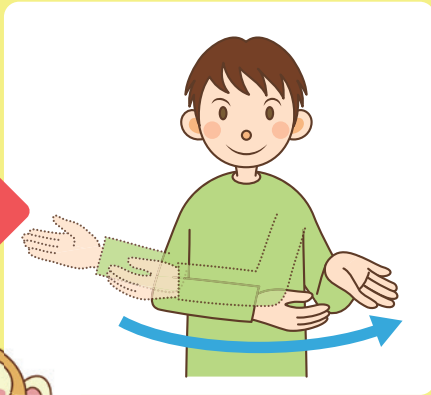
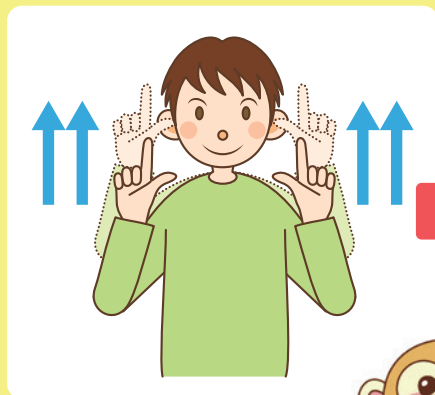
このブックレットには、初めての人にも使える単語から、身近な会話文まで、いろいろな手話を紹介しています。聴覚障害者の方が安心して東京を訪れることができるよう、おもてなしの手話を学んでみませんか？

## ◆ ◆ もくじ ◆ ◆

はじめに	2	行ってみたいところ	16
なぜ、「手のことば」が必要なの？	4	東京の地名／交通	18 19
ふだんの動作の中にも、手話があります	6	東京の観光地など	20
手話のしくみを知ろう	8	食べたいもの	22
手話を覚えるときに大切なこと	10	食べ物など	24
さあ、手話で話してみよう！	11	デフスポーツってどんなの？	26
あいさつのことば	12	避難所などでできこえない人を見かけたら？	28
自己紹介	14	手話は世界共通？	29
		緊急時の手話	30
		指文字	32
		数字	35



「手話」で伝えたいこと、わかるかな？



お客さまに  
「どうぞ」って言うとき、  
こんなしぐさをするよね？

こたえは9ページに

## 東京都手話言語条例

- 東京都では、手話は「手のことば」（言語）であるという考えに基づき、手話を必要とする聴覚障害者などの方々の権利が尊重され、安心して生活することができる共生社会の実現をめざし、「東京都手話言語条例」をつくり、令和4年9月1日に施行しました。
- 東京都は、手話や手話に対する理解を広げること、手話を使いやすい環境づくり、手話をを使った情報の発信をします。
- 都民のみなさんは、共生社会の実現に向けて、ぜひ、手話や手話を必要とする聴覚障害者などの方々への理解を深めてください。



《福祉局ホームページ》（参考）東京都手話言語条例について

東京都手話言語条例

検索

## なぜ、「手のことば」が必要なの？



### ちょうかくしょうがい 聴覚障害とは？

聴覚障害とは、まわりの音や話し言葉が聞こえにくかったり、ほとんど聞こえなかったりする状態をいいます。どれくらい聞こえるかは人によって異なり、文章を読み書きする力もそれぞれです。聴覚障害者がスムーズにコミュニケーションをとるためには、「目に見える」ことばが必要です。



### 聴覚障害者がこまること

#### ⚠️ まわりの人に気づいてもらえない

聴覚障害は、見た目ではわからないので、困っていてもまわりの人に理解してもらえないことがあります。

#### ⚠️ 放送や呼び出しに気づかない

銀行や病院で名前を呼ばれていることに気づかず、「いない」と思われたり、店内や駅の放送などがわからないことがあります。

#### ⚠️ 周囲の状況を判断できない

自転車や自動車の音が聞こえず、危険な目にあうことがあります。また、災害がおきても気づかなかったり、どのように動けばよいのかわからないことがあります。

#### ⚠️ コミュニケーションがむずかしい

相手の言うことがわからないだけでなく、声を出して話すことがうまくできない人もいます。そのため、手話や筆談のほか、口の動きを読み取るなど、いろいろな方法を使いますが、細かいことが伝わらなったり、誤解が生じたりすることがあります。





ちょうかくしょうがいしゃ

## 聴覚障害者へのサポート

聴覚障害<sup>ていど</sup>の程度は、人によってさまざまです。サポートをするときは、「何かおこまりですか?」「お手伝いしましょうか?」とたずねて、その人が「どれくらい聞こえるか」<sup>りかい</sup>を理解したうえで行うことが大切です。また、すべての聴覚障害者が手話を使うとは限りません。コミュニケーション方法は人それぞれですから、その人がふだん使っているコミュニケーション方法を大事にしましょう。

### サポートをするときは…

- 🍷 補聴器<sup>ほちょうき</sup>を使っている人には、ゆっくりと、はっきり口を動かして話しましょう。
- 🍷 音声だけで話さず、文字を書くなど、目で見てもわかるように伝えましょう。
- 🍷 あいまいな書き方や、まわりくどい書き方をせず、わかりやすい文を書きましょう。
- 🍷 話の内容が正しく通じているか、<sup>かくにん</sup>確認しながら話しましょう。

みんなへの  
おねがい!!



### リーフレット

## 「話そう! 手のことば ~はじめての手話~」のご紹介

東京都では、手話や聴覚障害を身近に感じてもらい、理解を深めてもらうことを目的に、リーフレット「話そう! 手のことば~はじめての手話~」も作成しています。本ブックレットと併せて東京都のホームページに掲載しています。

【お問い合わせ】

東京都福祉局障害者施策推進部企画課

TEL 03-5320-4147 FAX 03-5388-1413